

平成19年度 事務事業評価表			担当	産業環境部 産業振興課	内線等	1262
事務事業名	各種統計事業			事業コード	5 . 義務的事業	
根拠法令等	統計法			A 法令		

総合計画での位置付け

基本目標	7 . その他	施策名	その他
------	---------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	各種調査ごとの調査客体に対して
手 段	各種調査ごとに調査員により調査票の配布と回収を実施し
想定する成果	調査客体について調査し、その結果を行政施策の立案、実行の基礎資料とする。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
工業統計調査	405件	388件	900件
事業所・企業統計調査	5,132件		
商業統計調査		1,107件	
就業構造基本調査		150件	
住宅・土地統計調査			2,924件
漁業センサス			100件

成果指標

成果指標名	調査充足度（工業統計調査）
成果指標の説明	$(\text{回収客体} / \text{調査客対数}) \times 100$

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		94.2%				96.0%							
成果指標													
事業費	事業費	5,723				4,428				8,640			
	人件費	10,119				10,153				10,199			
	(人数)	正規	1.3	非常勤		正規	1.3	非常勤		正規	1.3	非常勤	
	合計	15,842				14,581				18,839			
財源内訳	国												
	県	5,692				4,410				8,359			
	市債												
	その他												
	一般財源	10,150				10,171				10,480			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	一部調査に協力を得られない所もあったが、無事県に報告できた。
経済効率性	3	3	2	3	県委託金を有効に使い事務処理できた。
事務効率性	2	2	2	2	指導員・調査員に事務説明会を開催し、調査を円滑に進めた。
必要性	-	3	-	3	義務的事业
小計	7	10	6	10	
施策への貢献度	-	-	-	-	施策名が「その他」
合計	7	10	6	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	各種統計調査が事故も無く、無事実施できた。
------	---	---	---	---	-----------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
電子地図を活用して調査漏れや重複を防止するとともに、調査区、調査員の管理等にパソコンを使用し事務量の軽減に努める。
上記改善点の実施状況
平成18年度から調査員証に写真を貼ることとなり、一度撮影した写真をパソコンに保存し、以後使用している。電子地図については、費用等の面から国勢調査での運用を考える。

今後さらに改善すべき点

各種統計調査を円滑に実施するために、登録調査員の数を増やす。

平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

